

高等学校学習指導要領との整合性  
(試験名：実用英語技能検定（英検）3級)

① 高等学校学習指導要領との整合性

i) 試験の目的・出題方針について

<目的>

英検3級は、4技能における英語運用能力（CEFRのA1レベル）を測定するテストである。

テスト課題においては、日常生活の身近な話題・題材が取り上げられ、それに対して技能に応じた多様な形式で出題される。これは、高等学校学習指導要領に示されている能力の中でも、特に、「英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの基礎的な能力」、「情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力」との関連が深く、それらを測定することにつながるもので、以下に示す科目の「1 目標」、「2 内容」、「3 内容の取扱い」との整合性が高い。

・コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、英語表現Ⅰ、英語会話

このように、英語での理解の能力とともに表現の能力を測定することを目的とする英検3級は、4技能における英語運用能力の育成を推進する高等学校学習指導要領の趣旨に沿ったものとなっている。

<出題方針>

英検3級で出題される「日常生活の身近な話題・題材」の分野・領域の例としては、次のようなものがある。

・家族、友達、学校、趣味、旅行、買い物、スポーツ、映画、音楽、食事、天気、道案内、自己紹介、休日の予定、海外の文化、人物紹介など

テスト課題は、上記の4つの科目における「2 内容」の(1)に示されている様々な言語活動との関連を踏まえながら、場面・状況の適切さ、話題・題材のバリエーションなどを考慮した上で作成され、それぞれの技能に応じた多様な形式で出題される。このような出題方針は、4技能における英語運用能力の育成を推進する高等学校学習指導要領の趣旨に沿ったものとなっている。

ii) 「聞くこと」において測定しようとする能力について

英検 3 級のリスニングテストでは、日常生活の身近な場面を設定し、身近な話題・題材を取り上げてリスニング能力を測定している。

- ・日常生活の身近な場面・状況における会話の聞き取り  
(例：家庭、学校、地域（各種店舗・公共施設を含む）、電話、アナウンスなど)
- ・日常生活の身近な話題・題材に関するパッセージの聞き取り  
(例：家族、友達、学校、趣味、旅行、買い物、スポーツ、映画、音楽、道案内、休日の予定など)

このような場面・状況や話題・題材に対して、以下のようなスキルが求められる多様な形式の質問が出題される。

- ・会話の概要、要点を理解する。
- ・会話の詳細な点を理解する。
- ・アナウンスの概要、要点を理解する。
- ・アナウンスの詳細な点を理解する。
- ・身近なことに関するパッセージの概要、要点を理解する。
- ・身近なことに関するパッセージの詳細な点を理解する。

これらのスキルは、「コミュニケーション英語基礎」、「コミュニケーション英語 I」における以下の項目に示されている言語活動との関連するものであり、身近な話題・題材について情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする能力の育成を推進する高等学校学習指導の趣旨に沿ったものとなっている。

- ・「コミュニケーション英語基礎」の「2 内容」の(1)  
中学校学習指導要領第 2 章第 9 節の第 2 の 2 の(1)に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を英語で行う。
- ・「コミュニケーション英語 I」の「2 内容」の(1)の A  
事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

iii) 「読むこと」において測定しようとする能力について

英検3級のリーディングテストでは、日常生活の身近なことを理解する上で求められる語彙力を問う課題とともに、次のようなテキストを用いてリーディング能力を測定している。

- ・会話、掲示、案内、Eメール、物語、説明

このようなテキストに対して、以下のようなスキルが求められる多様な形式の質問が出題される。

- ・会話の展開を理解する。
- ・掲示、案内などの概要、要点を理解する。
- ・パッセージの概要、要点を理解する。
- ・パッセージの詳細な点を理解する。

これらのスキルは、「コミュニケーション英語基礎」、「コミュニケーション英語Ⅰ」における以下の項目に示されている言語活動との関連するものであり、テキストに応じてさまざまな読み方の育成を推進する高等学校学習指導の趣旨に沿ったものとなっている。

- ・「コミュニケーション英語基礎」の「2 内容」の(1)  
中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を英語で行う。
- ・「コミュニケーション英語Ⅰ」の「2 内容」の(1)のイ  
説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

iv) 「話すこと」において測定しようとする能力について

英検 3 級のスピーキングテストでは、日常生活の身近な話題・題材を用い、次のようなテスト課題を通してスピーキング能力を測定している。

- ・パッセージの音読
- ・パッセージの内容に関する質問
- ・イラストに描かれえた人物などに関する質問
- ・受験者自身の日常生活に関する質問

これらの課題は、「コミュニケーション英語基礎」、「コミュニケーション英語 I」、「英語表現 I」、「英語会話」における以下の項目に示されている言語活動と関連している。また、テスト課題を通して、学習指導要領の「第 3 款 英語に関する各科目に共通する内容等」の 1 の[言語の働きの例]に示されている多様な言語機能を引き出すことが可能となり、高等学校学習指導要領の趣旨に沿ったものとなっている。

- ・「コミュニケーション英語基礎」の「2 内容」の(1)  
中学校学習指導要領第 2 章第 9 節の第 2 の 2 の(1)に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を英語で行う。
- ・「コミュニケーション英語 I」の「2 内容」の(1)のウ  
聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。
- ・「英語表現 I」の「2 内容」の(1)のア  
与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。
- ・「英語会話」の「2 内容」の「2 内容」の(1)のア、イ、ウ、エ  
ア 相手の話を聞いて理解するとともに、場面や目的に応じて適切に应答する。  
イ 関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりする。  
ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどを場面や目的に応じて適切に伝える。  
エ 海外での生活に必要な基本的な表現を使って、会話する。

スピーキング能力の評価は次の観点から行われる。

- ・発音、語彙、文法、語法、应答内容、情報量

これらは上記の 4 つの科目科目における以下の項目を反映するもので、高等学校学習指導要領の趣旨に沿ったものとなっている。

- ・「コミュニケーション英語基礎」の「2 内容」の(2)  
「2 内容」の(1)に示す言語活動を効果的に行うために、それぞれの生徒の中学校における学習内容の定着の程度等を踏まえた上で、中学校学習指導要領第 2 章第 9 節の第 2 の 2 の(2)のアに示す事項を参照しつつ、適切に指導するよう配慮するものとする。
- ・「コミュニケーション英語 I」の「2 内容」の(2)のア  
リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。
- ・「英語表現 I」の「2 内容」の(2)のア  
リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すこと。
- ・「英語会話」の「2 内容」のアとイ  
ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。  
イ 繰り返しを求めたり、言い換えたりするときなどに必要となる表現を活用すること。

v) 「書くこと」において測定しようとする能力について

英検 3 級のライティングテストでは、日常生活の身近な話題・題材を取り上げ、次のようなテスト課題を通してライティング能力を測定している。

- ・日常生活の身近な事柄に対して、受験者自身の考えとその理由を書く。(25～35語)

この課題は、「コミュニケーション英語基礎」、「コミュニケーション英語 I」、「英語表現 I」における以下の項目に示されている言語活動と関連している。また、テスト課題を通して、学習指導要領の「第 3 款 英語に関する各科目に共通する内容等」の 1 の[言語の働きの例]に示されている複数の言語機能を引き出すことが可能となり、高等学校学習指導要領の趣旨に沿ったものとなっている。

- ・「コミュニケーション英語基礎」の「2 内容」の(1)

中学校学習指導要領第 2 章第 9 節の第 2 の 2 の(1)に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を英語で行う。

- ・「コミュニケーション英語 I」の「2 内容」の(1)の E

聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。

ライティング能力の評価は次の 4 つの観点から行われる。

- ・「英語表現 I」の「2 内容」の(1)のイ

読み手や目的に応じて、簡潔に書く。

- ・内容、構成、語彙、文法

これらは上記に挙げた 2 つの科目における以下の項目を反映するもので、高等学校学習指導要領の趣旨に沿ったものとなっている。

- ・「コミュニケーション英語基礎」の「2 内容」の(2)

「2 内容」の(1)に示す言語活動を効果的に行うために、それぞれの生徒の中学校における学習内容の定着の程度等を踏まえた上で、中学校学習指導要領第 2 章第 9 節の第 2 の 2 の(2)のアに示す事項を参照しつつ、適切に指導するよう配慮するものとする。

- ・「コミュニケーション英語 I」の「2 内容」の(2)のイ

内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。

- ・「英語表現 I」の「2 内容」の(2)のイ

内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。また、書いた内容を読み返すこと。

② 資格・検定試験の問題と学習指導要領の関連項目

パート名：聞くこと

大問項目	小問項目	高等学校学習指導要領の関連項目
第1部	(1)～(20)	<p>「コミュニケーション英語基礎」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を行う。</p> <p>「コミュニケーション英語 I」へ向けて 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p>
第2部	(11)～(20)	<p>「コミュニケーション英語基礎」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を行う。</p> <p>「コミュニケーション英語 I」へ向けて 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p>
第3部	(21)～(30)	<p>「コミュニケーション英語基礎」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を行う。</p> <p>「コミュニケーション英語 I」へ向けて 2 内容 (1)ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p>

パート名：読むこと

大問項目	小問項目	高等学校学習指導要領の関連項目
1	(1)～(15)	「英語に関する各科目に共通する内容等」 ア 語、連語および慣用表現 (ア) 語 a 「コミュニケーション英語Ⅰ」にあっては、中学校で学習した語に400語程度の新語を加えた語
2	(16)～(20)	「コミュニケーション英語基礎」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を行う。  「コミュニケーション英語Ⅰ」へ向けて 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
3A	(21)～(22)	「コミュニケーション英語基礎」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を行う。  「コミュニケーション英語Ⅰ」へ向けて 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
3B	(23)～(25)	「コミュニケーション英語基礎」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を行う。  「コミュニケーション英語Ⅰ」 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
3C	(26)～(30)	「コミュニケーション英語基礎」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を行う。  「コミュニケーション英語Ⅰ」 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

パート名：話すこと

大問項目	小問項目	高等学校学習指導要領の関連項目
音読	パッセージの音読 (30語程度)	<p>「コミュニケーション英語基礎」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を行う。</p> <p>「コミュニケーション英語 I」へ向けて 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p>
No.1	パッセージの内容についての質問	<p>「英語会話」 2 内容 (1) ア 相手の話を聞いて理解するとともに、場面や目的に応じて適切に応答する。 イ 関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりする。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどを場面や目的に応じて適切に伝える。 エ 海外での生活に必要な基本的な表現を使って、会話する。</p> <p>「コミュニケーション英語基礎」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を行う。</p>
No.2 No.3	イラストについての質問	<p>「英語会話」 2 内容 (1) ア 相手の話を聞いて理解するとともに、場面や目的に応じて適切に応答する。 イ 関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりする。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどを場面や目的に応じて適切に伝える。 エ 海外での生活に必要な基本的な表現を使って、会話する。</p> <p>「英語表現 I」へ向けて 2 内容 (1) ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。</p>
No.4 No.5	受験者自身の考えなどを問う質問	<p>「英語会話」 2 内容 (1) ア 相手の話を聞いて理解するとともに、場面や目的に応じて適切に応答する。 イ 関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりする。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどを場面や目的に応じて適切に伝える。 エ 海外での生活に必要な基本的な表現を使って、会話する。</p> <p>「英語表現 I」へ向けて 2 内容 (1) ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。</p>

パート名：書くこと

大問項目	小問項目	高等学校学習指導要領の関連項目
4	質問に対する 回答を英文で 書く	「コミュニケーション英語基礎」 2 内容 (1) 1の目標に基づき、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を行う。  「コミュニケーション英語 I」へ向けて 2 内容 (1) I 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。  「英語表現 I」へ向けて 2 内容 (1) イ 読み手や目的に応じて、簡潔に書く。